

授業科目名	子どもと表現（音楽）(2100228)		
時間割名	子どもと表現（音楽）(25103)		
時間割担当	山本美紀		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

幼児期の音楽体験は、学習指導要領において目指されている「生きる力」育成の源となるものであり、その後の豊かな人生の基盤となるものである。このことから、幼児期の音楽を通じた表現の学びは小学校教育課程への基礎であると同時に、生涯教育の視点からもとらえる必要がある。幼児にとっては、生活の中で音楽的表現を学んでいくことが重要であることから、園での1年間を基軸に、そこで取り上げられる音楽遊びやうたを学び、またそれを生かした指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。そこから子どもたちに音楽を通して表現し、理解する楽しさを伝える指導法の習得を目指すものである。受講には、ピアノ力が必要。

学習の到達目標

幼児期に音楽表現を学ぶ意義、目標と内容、指導計画・教材研究・指導方法について認識を深める。さらに、歌唱における言葉の重要性、音程感、編曲法、音楽表現と言葉などについて指導法の理解を深め、幼稚園教育要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践的力をつける。

授業方法・形式

- それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら、実践的に学びを深めていく。
- 必要に応じて、取り上げるテーマに関する演習（歌唱や演奏、音楽あそびなど）を行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション：講義内容概説 幼児期に伸ばす音楽表現の力 どこでしょう
- 第2回 4月・5月の行事と音楽 指導のポイント：幼児の歌あそび指導 あくしゅでこんにちはおべんとうばこのうた
- 第3回 6月・7月の行事と音楽 指導のポイント：リズム表現指導法 かえるのがっしょう おおきなうた
- 第4回 8月・9月の行事と音楽 指導のポイント：幼児の音感 アブラハムの七人の子 おおきなくりのきのしたで
- 第5回 10月・11月の行事と音楽 指導のポイント：幼児の音程指導法 やきいもグーチャーパー 八百屋のお店
- 第6回 12月・1月の行事と音楽 指導のポイント：幼児の音楽表現に寄り添う伴奏法 アルプスいちまんじゃく ずいずいずっこころばし
- 第7回 2月・3月の行事と音楽 指導のポイント：幼児への即興音楽表現指導 てをたたきましょう しあわせならてをたたこう
- 第8回 幼稚園指導要領から学習指導要領へ：概説と「1年生ギャップ」 とんとんとんとんひげじいさん 幼児の表現指導に必要な技能：伴奏法と編曲法
- 第9回 教育課程と保育の構想からみた幼児の音楽表現の指導 幼児の表現指導に必要な技能：指揮法
- 第10回 幼稚園教育要領に基づいた指導計画 学習指導計画の作成上の配慮事項や単元指導計画、学習指導案の作成について学ぶ
- 第11回 模擬授業演習（1）歌唱 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第12回 模擬授業演習（2）器楽 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第13回 模擬授業演習（3）音楽あそび 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 園生活の中でのうたと音楽表現指導 幼稚園生活のまとめとしての生活発表会のアイディア：音楽表現の見地から
- 第15回 授業の総括としてこれまで身につけたことについてまとめ、実技試験を行う。

成績評価の基準

毎回の授業中に行う小テストと小レポートを中心に評価し、理解度をチェックする（30%）。また、授業内での演習・取組などを評価する（30%）。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する（40%）。

授業時間外の課題

- テキストを読み、その日歌った歌は必ず歌えるようにしておくこと。
- さらに、同じ季節やテーマの歌を最低2曲は自分で歌えるように、参考書などから探しておく。
- 『幼稚園教育要領』を参照し、指導内容を確認し、学習指導案作成の際に活用する。

メッセージ

本講義は、「音楽の理解」で学んだ内容を基礎として、その上に幼稚園教諭として必要な音楽表現指導のための実践的知識と技能を学ぶものである。「器楽演習」等とも関連をはかり、幼児の音楽表現指導について多方面からの理解を深める内容とする。

教材・教科書

山本美紀/岡田美紀 他『【改訂新版】幼児教育・初等教育のための音楽基礎知識と表現 - 音楽でつむぐ学びの歳時記<伴奏譜・楽器詳細付き>』ヨベル社（*「音楽の理解」で購入している者は、それを使用する）、小林美実『こどものうた200』チャイルド本社、山本美紀編著『（仮題）音楽教育から地域の文化力へ イメージをつなげる』ERP出版（H27年8月出版予定）。

参考書

文部科学省 幼稚園教育要領